

ファイザー という 会社の ワクチンに ついて
2021年12月

新型コロナワクチンを打ってもらうときの説明のための書類
(追加接種用 (3回目のワクチン用))

新型コロナワクチンを打ってもらうことについて

国と、市、町、村がする新型コロナウイルス (SARS-CoV-2 といいます) のためのワクチンを打つ仕事をしています。お金は全部 国などがはらいますので、ワクチンを打ってほしい人は ただ (0円) でワクチンを打ってもらうことができます。このワクチンの追加 (3回目) を打ってもらうことができるのは 18歳以上の人だけです。

ワクチンが効くかどうかと、ワクチンを打つ方法

今回打つワクチンはファイザーという会社つくったワクチンです。このワクチンを打ったら、新型コロナウイルスが原因で起こる病気 (新型コロナウイルス感染症) にかかりにくくなります。このワクチンを3回打った後は、2回目を打った後よりも ウイルスから体を守ってくれる抗体が何倍も多いという報告があります。

ワクチンの名前	コミナティ [®] 筋注
何にききますか?	SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス) 感染症にかかりにくくなる
ワクチンを打つ回数・ ワクチンを打つ間の期間	1回 (2回目のワクチンを打ったあと 決められた日にちが過ぎてから。) ※ワクチンは筋肉に打ちます
ワクチンを打ってもらうことができる人	18歳以上の人 (18歳よりちいさい人にこのワクチンを3回打った時にきくかどうか、安全かどうかはまだわかっていません)
ワクチンの量	1回0.3 mLで1回打ちます

- いつワクチンを打つことができるかは、年れいなどによって違います。今のところ、2回目のワクチンを打ってから6～8か月です。住んでいる市、町、村からのお知らせをみてください。
- 1回目や2回目に、この (ファイザーという会社が作った) ワクチンと違うワクチンを打ってもらった人でも、3回目はこのワクチンを打ってもらうことができます。
- 3回目のワクチンを打ってもらったら新型コロナウイルス感染症に完全にかからなくなるわけではないけれど、かかりにくくなりますし、もしかかって症状が少なくてすみます。ですが、完全にかからないわけではないので、ワクチンを打ってもらったあとも、マスクをするとか、他の人と距離をとるとか、今までと同じように、新型コロナウイルス感染症にかからないように気をつけてください。

ワクチンを打ってもらうことができない人

つぎの1～4の人はこのワクチンを打ってもらうことができません。1～4にあてはまるかもしれないと思う人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんにみってもらうときに、かならず、1～4にあてはまるかもしれないということをお医者さんに言ってください。

- 1. まちがいなく熱がある人 (※1をみてください)
- 2. 重い急な病気にかかっている人
- 3. このワクチンに入っているものに強く反応する症状 (過敏症といいます) (※2をみてください) がでたことがある人
- 4. 1～3以外の理由で、ワクチンを打ってもらってはいけない状態の人

(※1) まちがいに熱があるというのは、普通37.5℃以上のことです。しかし、体温が 37.5℃より低くても、いつもの体温と比べて、熱があると考える場合もあります。

(※2) 過敏症というのは次のようなものです。アナフィラキシーや、体中の皮膚や粘膜に症状が出る、息をするときに「ゼーゼー」といった音が聞こえる、息が苦しくなる、脈がはやくなる、血圧が下がるなどアナフィラキシーかもしれないという症状がある場合。1回目や2回目のワクチンを打った時に、このような症状になった人は、3回目に同じワクチンを使うことができません。

ワクチンを打ってもらうときに注意した方がいい人

次の1～6の人はこのワクチンを打ってもらうときに、注意した方がいいです。1～6にあてはまるかもしれないと思う人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんにみってもらうときに、かならず、1～6にあてはまるかもしれないということをお医者さんに言ってください。

- 1. 血が固まらないようにする治療を受けている人、血液の中の血小板が少なくなる病気（血小板減少症）にかかっている人や血が固まりにくい症状がある人
- 2. 免疫（病気にかからなくなるしくみ）がうまく働かない状態（免疫不全）になったことがある人、親や兄弟など近い関係の人（近親者）に、生まれたときから免疫不全になっている病気（先天性免疫不全症）の人がいる人
- 3. 心臓、腎臓、肝臓、血液の病気や、体が十分に大きにならないなどの元々の病気（基礎疾患）がある人
- 4. これまでにワクチンを打ってもらったあと、2日以内に、熱がでたり体中にできものがでたりするなど、アレルギーかもしれない症状がでたことがある人
- 5. これまでに、急に手や足が腫れたり、体が動かなくなったりしたこと（「けいれん」といいます）がある人
- 6. このワクチンに入っているものにアレルギーがおこるかもしれない人

赤ちゃんがおなかにいる（妊娠中）か、妊娠しているかもしれない人、赤ちゃんにあなたの母乳をあげている人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんに見てもらうときに、かならず、お医者さんにそのことを言ってください。ただし、いつも行っている産婦人科のお医者さんに確認していない場合でも、ワクチンを打つ前にみられるお医者さんが「ワクチンを打ってもいい」と判断した場合は、ワクチンを打つことができます。

このワクチンには、これまでのワクチンでは使ったことがないものが入っています。これまでに、薬で過敏症やアレルギーになったことがある人は、ワクチンを打ってもらう前にお医者さんにみってもらうときに、かならず、お医者さんにそのことを言ってください。

ワクチンを打ってもらったあとに注意すること

このワクチンを打ってもらったあとは、次の1～3をまもってください。

- 1. このワクチンを打ってもらったあとは、15分以上（これまでに、ワクチンを打ってもらったときに、アナフィラキシーなどの重いアレルギーになったことがある人や、気分がわるくなったり、気を失ったりしたことがある人は30分以上）、ワクチンを打ってもらった施設で待ってください。もし、体の調子がわるくなったら、すぐにお医者さんに言ってください。（急におこるワクチンのわるい影響（副反応）といいます）に対応することができます
- 2. ワクチンの注射をしたところはきれいにしてください。ワクチンを打ってもらった白におふるにはいいのですが、ワクチンを注射してもらったところをこすらないでください。
- 3. ワクチンを打ってもらった日は、はげしい運動をしないでください。

ワクチンを打ってもらったことによるわるい影響（副反応）について

- このワクチンを打ってもらったときにおこる主な副反応は次のようなものです。注射をしたところがいたくなる、頭がいたくなる、関節や筋肉がいたくなる、つかれる、寒いと感じる、熱がでるなどです。とてもすくなく、とてもひどい副反応にショックやアナフィラキシーがあります。このワクチンは、新しくつくったワクチンなので、まだわかっていない副反応が出るかもしれません。ワクチンを打ってもらったあとで、なにか症状がでたときは、いつもみてもらっているお医者さんに相談してください。
 - とても少ないケースですが、ワクチンを打った後に、心筋炎（心臓の筋肉の炎症）や心膜炎（心臓を包んでいる袋のような膜の炎症）かもしれないという報告があります（※）。ワクチンを打った後、数日以内に次のような症状がでたら、すぐにお医者さんに言ってください。胸がいたい／心臓がいつもよりどきどきする／息が苦しくなる／むくむ（体の中に水がたまって、皮膚がふくらむ）
- （※ 1） 1回目よりも2回目にワクチンを打った後の方が多く、若い人、特に男の人に多いようです。
- 3回目にワクチンを打った後は、前に打った時と比べて、5%ほど、脇の下のリンパ節が腫れやすいですが、症状は軽く、数日以内によくることが多いです。腫れがひどかったり、なかなかよくなる時は、お医者さんにそのことを言ってください。

ワクチンを打ってもらったことでおこった健康に関係のある問題を助ける制度（予防接種健康被害救済制度）について

ワクチンを打ってもらったときに健康被害（病気になったり、体に障害が残ったりすること）がおこることがあります。こうした被害はとてもすくなく、こうした被害をなくすことはできないので、被害を受けた人を助ける制度があります。

新型コロナワクチンを打ってもらったことで健康被害を受けた場合も、こうした救済制度を使うことができます（これは、予防接種法という法律で決まっています）。たとえば、病院などでかかるお金（医療費）や障害がある人がもらえる年金（障害者年金）をもらうことができます。こうしたお金をもらうためには、健康被害を受けたことを役所に教えなければなりません。このことについて詳しいことは、あなたの住民票がある場所の市、町、村の役所に聞いてください。

新型コロナウイルスによる病気（新型コロナウイルス感染症）について

新型コロナウイルス感染症は、SARS-CoV-2 というウイルスが原因でおこります。この病気になると、熱やせきがでるなど、かぜによく似た症状がでます。症状が軽いつきに治る人も多いですが、症状が重くなると、呼吸が苦しくなるなど肺炎の症状がひどくなって、死ぬこともあります。

これから打つ新型コロナウイルスワクチン（ファイザーという会社のワクチン）はどんなワクチンですか？

このワクチンは、メッセンジャーRNA（mRNA）を使ったワクチンです。SARS-CoV-2 というウイルスのスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞に入るために必要なタンパク質）をつくるための設計図になる mRNA を脂質の膜に包んでいます。このワクチンを打つと、mRNA があなたの細胞の中に入り、この mRNA を使って細胞の中でスパイクタンパク質が作れます。そして、そのスパイクタンパク質の働きを中和する抗体ができ、免疫を作るように命令がで（細胞性免疫応答が働いて）、SARS-CoV-2 による感染症にかからないようになると考えられています。

（うらに つづく）

このワクチンには、次のものが入っています。

効果があるもの	◇ トジナメラン (人間の細胞膜とくっつく働きがあるスパイクタンパク質全体の情報を伝える mRNA)
定したもの	◇ ALC-0315 : [(4-ヒドロキシブチル) アザンジール] ビス (ヘキサン-6,1-ジール) ビス (2-ヘキシルデカン酸エステル) ◇ ALC-0159 : 2- [(ポリエチレングリコール) -2000] -N,N-ジテトラデシルアセトアミド ◇ DSPC : 1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン ◇ コレステロール ◇ 塩化カリウム ◇ リン酸二水素カリウム ◇ 塩化ナトリウム ◇ リン酸水素ナトリウム二水和物 ◇ 精製白糖